

令和2年度 林野公共事業事業評価技術検討委員会 議事概要

- 1 開催日時 令和2年8月26日（水） 13：20～14：20
- 2 開催場所 北海道森林管理局2階 第2会議室
- 3 出席者 委員：丸谷委員長、樽見委員、庄子委員
局担当者：総務企画部長
森林整備第一課長、森林整備第一課企画係長
森林整備第二課長、森林整備第二課設計指導官
森林整備第二課路網整備係長
監査官、監査係長

4 議事

- (1) 森林整備事業（完了後の評価4件）について

5 議事概要

（森林整備第一課企画係長から森林整備事業に係る完了後の評価4件について説明）

（委員）

分析結果B/Cについて事前評価時点から下がった理由として地形が急峻であったためという説明があったが、地形については事前評価時点ですでに分かったのではないのか。

（局）

地形が急峻で路網作設の費用がかかり増しになったためであるが、その他特に事前評価時点では切り捨て間伐の予定から、材の有効利用を考えて材を搬出することに変更したため、事前評価時点よりも余計に路網作設の費用がかかり増しとなった。

（委員）

事前評価時点で算出した分析結果B/Cについて、計画よりも事業実行段階で費用が想定以上にかかり増しになりそうになった場合、事業の中止や変更をすることもあるのか。

（局）

事業全体を取りやめるということはないが、災害発生時や現地精査の結果による部分的な見合わせ、林道を作設する際に、作設困難な場所を避けて作設する路線の計画変更を行う場合はある。

(委員)

請負労務単価の上昇により事前評価時点よりも総費用に差異が出たと記載がある一方で、効率的で生産性の高い高性能林業機械の導入が進められていると記載がある。生産性が上がれば請負労務単価が上昇しても総費用に差異が出ないのではないか。

(局)

数年前に比べ生産性は上がっているが地域や事業体間において差異があり、請負労務単価の上昇を補うほどのものではないため、総費用に差異が出ている。

(委員)

事業費の変動は請負労務単価の上昇等が影響しているとのことであるが、何によるものが一番大きいものと思われるか。労務単価の上昇が今後も続くことになれば、事前評価を作成する上で考慮する必要があるのではないか。

(局)

請負労務単価の上昇が一つの要因であるのは間違いないが、他の要因による変動もあるので、請負労務単価の上昇だけが、影響しているとはいえない。

将来において、労務単価の上昇よりも生産性の向上により総費用を抑えないといけないと認識している。

(委員)

生物多様性の保全やレクリエーション価値は総便益に含まれていないが、有名な山では全国から登山客が来ることなどから、総便益は大きいものであると思われる。

(局)

レクリエーション等の価値については判断が難しいと思われるが、評価の仕方は今後変わる可能性があると思われる。

以上